

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 北越工業 株式会社  
 コード番号 6364 URL <http://www.airman.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 吉岡 謙一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 肥田 格  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東

TEL (0256) 93-5571

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	23,296	—	1,502	—	1,453	—	581	—
20年3月期第3四半期	24,187	16.3	1,983	31.1	2,019	35.6	1,303	88.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	19.35	—
20年3月期第3四半期	43.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	23,082	—	10,603	—	45.5	349.44	—	
20年3月期	24,111	—	10,401	—	42.7	343.09	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 10,491百万円 20年3月期 10,306百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	9.00	9.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	△14.1	800	△67.5	750	△68.7	210	△87.9	6.99

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4 その他をご覧ください。

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	30,165,418株	20年3月期	30,165,418株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	140,607株	20年3月期	126,457株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	30,032,359株	20年3月期第3四半期	30,050,472株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 平成20年11月12日に公表した通期の連結業績予想について本資料において修正しております。
- (2) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。実際の業績は今後様々な要因により記載の予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- (3) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(ご参考) 平成21年3月期通期個別業績の見通し (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位: 百万円)

	平成21年3月期				(ご参考) 平成20年3月期 実績
	今回予想 A	前回予想 B	増減額 A - B	増減率 (%) (A - B) / B	
売上高	25,500	29,200	△3,700	△12.7	30,576
営業利益	350	1,610	△1,260	△78.3	1,924
経常利益	330	1,650	△1,320	△80.0	1,879
当期純利益	100	940	△840	△89.4	1,419

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨秋以降、世界経済の急速な悪化と為替の急激な変動により、需要が大幅に低下して推移しました。

当社グループ関連業界におきましても、建設投資の低迷や生産設備投資の延期、抑制並びに海外需要の減少等により厳しい経営環境にありました。

このような状況のなか、当社グループは新興国等への建設用コンプレッサ、発電機の拡販を進めてまいりました。国内におきましては、屋外設置可能な工場設備向けコンプレッサシリーズや高所作業車の新製品投入等で販売促進を図ってまいりました。

その結果、売上高は国内が14,012百万円、海外が9,283百万円となり、全体では23,296百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

損益につきましては、売上高の減少や為替相場の円高、原材料価格の値上げ等の影響を受け、営業利益は1,502百万円（前年同期比24.2%減）、経常利益は1,453百万円（前年同期比28.0%減）、四半期純利益は、本日（平成21年2月10日）「平成21年3月期第3四半期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ」で公表いたしました投資有価証券評価損の計上等により581百万円（前年同期比55.4%減）と大幅な減益となりました。

なお、前年同期比増減率につきましては、参考として記載しております。

## 2 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

## (1) 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末と比べ815百万円減少し、16,921百万円となりました。これは主に、「【定性的情報・財務諸表等】、5 四半期連結財務諸表、(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書」に記載のとおり現金及び預金が減少したこと及び売上減少による在庫増加に伴い製品が増加したことによるものであります。

## (2) 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産残高は、前連結会計年度末と比べ212百万円減少し、6,161百万円となりました。これは主に、時価の下落により投資有価証券が減少したこと及びソフトウェア仮勘定等の増加に伴い無形固定資産が増加したことによるものであります。

## (3) 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債残高は、前連結会計年度末と比べ842百万円減少し、10,334百万円となりました。これは主に、売上減少による生産の減少に伴い支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

## (4) 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債残高は、前連結会計年度末と比べ388百万円減少し、2,144百万円となりました。これは主に、社債(期限1年内)への振替に伴い社債が減少したことによるものであります。

## (5) 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末と比べ202百万円増加し、10,603百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと及び時価の下落によりその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ1,294百万円減少し、2,561百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは△810百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額等によるものであります。

## (2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは△397百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

## (3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは△45百万円となりました。これは主に、短期借入れによる収入及び短期借入金の返済による支出等によるものであります。

## 3 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国の経済は、急速な世界経済の悪化と為替相場の円高により、この先の景気動向はますます不透明感を増しております。

当社グループの関連業界におきましても、この急激な変動の影響を受け、いっそう厳しい状況が続くものと予測されます。

当社グループとしましては、販売の強化、在庫圧縮、コスト低減等を進めてまいります。このような経営環境を踏まえ、平成20年11月12日に発表いたしました平成21年3月期通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。詳細は、本日(平成21年2月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

平成21年3月期通期連結業績の見通し(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	平成21年3月期				(ご参考)
	今回予想 A	前回予想 B	増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	平成20年3月期 実績
売上高	27,500	31,400	△3,900	△12.4	32,031
営業利益	800	2,060	△1,260	△61.2	2,462
経常利益	750	2,100	△1,350	△64.3	2,399
当期純利益	210	1,190	△980	△82.4	1,734

なお、本業績予想の為替レートは、1米ドル90円、1ユーロ120円を前提としております。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。実際の業績は今後様々な要因により記載の予想数値と異なる場合があります。

#### 4 その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ4,473千円減少しております。

5 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,593,029	3,886,178
受取手形及び売掛金	9,875,089	9,839,225
製品	3,138,512	2,678,310
原材料	463,043	459,939
仕掛品	162,566	183,363
繰延税金資産	190,248	323,478
その他	502,889	370,910
貸倒引当金	△3,747	△4,237
流動資産合計	16,921,632	17,737,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,215,832	4,199,929
減価償却累計額	△3,229,689	△3,168,458
建物及び構築物(純額)	986,142	1,031,471
機械装置及び運搬具	5,572,816	5,558,120
減価償却累計額	△4,554,308	△4,424,314
機械装置及び運搬具(純額)	1,018,507	1,133,806
土地	1,614,352	1,614,352
建設仮勘定	132,515	62,790
その他	971,984	912,304
減価償却累計額	△872,687	△818,154
その他(純額)	99,296	94,149
有形固定資産合計	3,850,815	3,936,569
無形固定資産	146,564	30,022
投資その他の資産		
投資有価証券	1,405,613	1,733,877
繰延税金資産	591,472	509,715
その他	212,363	212,384
貸倒引当金	△45,644	△48,702
投資その他の資産合計	2,163,804	2,407,275
固定資産合計	6,161,184	6,373,867
資産合計	23,082,816	24,111,037

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,502,134	7,282,530
短期借入金	2,054,192	1,650,192
1年内償還予定の社債	520,000	220,000
未払法人税等	46,207	546,947
賞与引当金	255,846	403,872
役員賞与引当金	18,000	35,000
その他	937,945	1,038,346
流動負債合計	10,334,326	11,176,889
固定負債		
社債	120,000	530,000
長期借入金	111,496	175,890
繰延税金負債	1,094	3,809
退職給付引当金	1,488,200	1,308,039
役員退職慰労引当金	207,413	299,344
P C B対策引当金	125,000	125,000
その他	91,434	90,940
固定負債合計	2,144,639	2,533,024
負債合計	12,478,965	13,709,913
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,416,544	3,416,544
資本剰余金	3,394,894	3,394,894
利益剰余金	3,732,943	3,422,206
自己株式	△35,119	△31,334
株主資本合計	10,509,262	10,202,311
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,420	97,998
為替換算調整勘定	△34,843	5,780
評価・換算差額等合計	△17,423	103,779
少数株主持分	112,011	95,032
純資産合計	10,603,851	10,401,123
負債純資産合計	23,082,816	24,111,037

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	23,296,406
売上原価	18,516,643
売上総利益	4,779,762
販売費及び一般管理費	
荷造運搬費	484,804
役員報酬及び給料手当	1,214,107
賞与引当金繰入額	103,338
役員賞与引当金繰入額	18,000
退職給付引当金繰入額	115,960
役員退職慰労引当金繰入額	20,054
その他	1,320,541
販売費及び一般管理費合計	3,276,807
営業利益	1,502,955
営業外収益	
受取利息	8,876
受取配当金	50,164
その他	26,192
営業外収益合計	85,233
営業外費用	
支払利息	26,993
為替差損	90,902
その他	16,690
営業外費用合計	134,586
経常利益	1,453,601
特別利益	
固定資産処分益	15
投資有価証券売却益	1,832
貸倒引当金戻入額	514
特別利益合計	2,361
特別損失	
固定資産処分損	2,557
投資有価証券評価損	222,929
特別損失合計	225,486
税金等調整前四半期純利益	1,230,476
法人税、住民税及び事業税	527,904
法人税等調整額	102,196
法人税等合計	630,101
少数株主利益	19,288
四半期純利益	581,087

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,230,476
減価償却費	302,649
退職給付引当金の増減額(△は減少)	180,161
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,548
受取利息及び受取配当金	△59,040
支払利息	26,993
投資有価証券評価損益(△は益)	222,929
有形固定資産処分損益(△は益)	2,542
売上債権の増減額(△は増加)	△35,864
たな卸資産の増減額(△は増加)	△441,662
仕入債務の増減額(△は減少)	△837,623
未収消費税等の増減額(△は増加)	1,030
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,660
その他	△401,607
小計	183,775
利息及び配当金の受取額	62,307
利息の支払額	△27,185
法人税等の支払額	△1,029,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	△810,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△247,742
有形固定資産の売却による収入	71
無形固定資産の取得による支出	△121,089
投資有価証券の取得による支出	△32,028
投資有価証券の売却による収入	5,180
貸付けによる支出	△2,000
貸付金の回収による収入	1,319
定期預金の預入による支出	△962
投資活動によるキャッシュ・フロー	△397,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	3,450,000
短期借入金の返済による支出	△2,900,000
長期借入金の返済による支出	△210,394
社債の償還による支出	△110,000
自己株式の取得による支出	△3,785
配当金の支払額	△268,748
少数株主への配当金の支払額	△2,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40,624
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,294,111
現金及び現金同等物の期首残高	3,855,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,561,005

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社及び連結子会社は、建設機械・産業機械の製造及び販売並びにこれらに関連する業務のみを行っておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合が、いずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	欧州(千円)	北米(千円)	アジア(千円)	その他の地域(千円)	計(千円)
I 海外売上高	695,946	769,715	4,815,664	3,002,478	9,283,804
II 連結売上高	—	—	—	—	23,296,406
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	3.0	3.3	20.7	12.9	39.9

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) 欧州……………ドイツ、オランダ、イタリア等

(2) 北米……………米国等

(3) アジア……………中国、シンガポール等

(4) その他の地域…ロシア、中近東、アフリカ等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日
	金額(千円)
I 売上高	24,187,424
II 売上原価	18,850,087
売上総利益	5,337,336
III 販売費及び一般管理費	3,354,328
営業利益	1,983,008
IV 営業外収益	97,403
V 営業外費用	61,291
経常利益	2,019,120
VI 特別利益	37,215
VII 特別損失	161,537
税金等調整前四半期純利益	1,894,797
法人税等	570,719
少数株主利益	20,162
四半期純利益	1,303,915